



七国小だより

七国小学校の教育目標

自分を伸ばします

●すすんで学びます

●心をみがきます

●体をきたえます



「未来に挑戦する日本一優しい学校」づくり

七国小の『思いやりツリー』を育てよう

～人を元気にする「ふわふわ言葉」～

11月の七国小ABCプロジェクトのテーマ『ふわふわ言葉を使おう』を受けて、代表委員会の企画で『思いやりツリー』づくりの取り組みを、全学級で進めてきました。

友達にかけてもらった「ふわふわ言葉」を葉っぱ（『思いやりリーフ』）に記入して集め、七国小学校の廊下4か所に、ふわふわ言葉が生い茂った「思いやりツリー」を生い茂らせる取り組みです。

実は世界中で「言葉」を意味する単語に『葉』（Leaf）という意味が組み込まれているのは、日本だけだそうです。自然の中で生きる日本の民族性として、『葉』の様々な形や、季節による微妙な色の変化、葉の重なりや、様々な木々の色合いが織りなす自然の風景美が『心』に与える影響を一つの言葉になぞらえたのでしょう。

そう考えると、私たちの身の回りの木々が、枝ばかりだとすれば、とっても寂しい世界に見えるでしょうね。

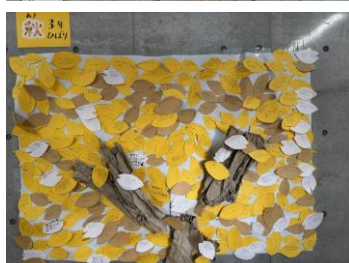
自然はたくさんのことを人間に教えてくれます。なぜ植物は『根』からの栄養分と、『葉』からの栄養分という、2通りの吸収の仕方をするのでしょうか。もしかしたら意味があるのかもかもしれませんね。

人間に置き換えると、『根』からの栄養分は土壌（家庭）で育まれるものです。人間が自立して生きていくために必要とする衣食住をはじめ自ら成長する力、加えて、唯一の存在として深く愛されているという安心感（深い愛情）かもしれませんね。

また、『葉』からの栄養分は、集団や社会といった人と人の関係性の中で、言葉やかかわりを介して育まれる「豊かな心の成長」にかかわる栄養分かもしれません。言葉は人の心を幸せにする一方、傷つけもします。

ぜひ、緑豊かな七国の地、自分と周囲のみんなが幸せに成長できるように、子ども達に豊かな『言葉』を獲得させていきたいものです。

子ども達が作った『思いやりツリー』の葉（『思いやりリーフ』）の一部を紹介します。



- ・図工の時間にのこぎりでうまくきれなかった時、となりの人が手伝ってくれた。
- ・鍵盤のテストで「がんばって。」と言ってくれました。
- ・鉛筆と消しゴムと定規を貸してくれてありがとう。
- ・友達が私を笑わせてくれて話してくれて相談にのってくれた。
- ・リコーダーの苦手な子に細かく教えていた。
- ・落ち込んでいる時には励ましてくれた。
- ・悩んでいたことを一緒に悩んでくれてうれしかった。



■ 2025年度 課題研究発表会(東京家政学院大学) ～『七国地区学園都市構想』の取組～

11月23日(日)東京家政学院大学町田キャンパスにおいて、
「2025年度課題研究発表会」(東京家政学院大学主催)が行われました。

本校6年代表児童1名が「菌やカビの育ち方について」と題し発表を行いました。

高校生の研究部や大学生の研究発表が行われる中、
自分が興味を持った課題に対し丁寧に調べ、わかりやすく
まとめた結果を立派に発表することができました。



■ 税に関する絵はがきコンクール

租税教育活動の一環として、6年生が法人会主催の「税に関する絵はがきコンクール」に出展しています。今年度は、本校6年生児童1名が「市議会議長賞」を受賞しました。

授賞式は11月26日(水)京王プラザホテル八王子にて行われました。

受賞した絵は、来年度の八王子市の納税通知書の封筒に掲載されます。



■ 七国地区「みんなのコンサート」(七国地区学園都市構想)

七国地区学園都市構想会議では、11月29日(土)13:30～15:30「みんなのコンサート」を企画しております。会場は七国中学校体育館です。発表参加団体は以下の通りです。会の開催には、七国地区学園都市構想に参加いただいております企業等の皆様に協賛いただいております。出演団体による音楽発表に加えて、協賛団体のPR紹介。七国中学校太陽学級と榮太樓総本舗とのコラボ開発商品「八王子キャンディ」の紹介と販売(こちらは13時10分からスタート)もあります。お楽しみに!

【参加団体】

七国中学校太陽学級&OneStep 音楽スタジオ
七国中学校 吹奏楽部
聖パウロ学園高等学校 ハンドベルクワイア
東京ゆりかご幼稚園 菊池先生
七国小学校 合奏クラブ・教職員 みなみ野小中学校林先生

【協賛団体】

株式会社榮太樓総本舗
株式会社ニッスイ東京イノベーションセンター
パルシステム生活協同組合連合会

※持ち物

履物(上履きなど)と下足入れ袋、水筒(中身自由)の持参をお願いします。



12月の予定

[illegible]